

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	SOSiLA海老名Ⅱ新築工事	階数	地上5F
建設地	海老名市大谷北一丁目211-5外	構造	RC造
用途地域	準工業地域、法22条地域	平均居住人員	1,500 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年5月 予定	評価の実施日	2024年5月12日
敷地面積	27,707 m ²	作成者	浅井謙建築研究所(株)一級建築士事務所
建築面積	16,641 m ²	確認日	2024年5月21日
延床面積	68,613 m ²	確認者	浅井謙建築研究所(株)一級建築士事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

46 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 0.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	小田急小田原線・相模鉄道線・JR相模線海老名駅から徒歩で15分の準工業地域に5F・RC造一部S造の倉庫を計画した。	その他 特になし
Q1 室内環境	特になし	Q3 室外環境(敷地内) 周辺景観と調和した色彩、素材及び材料を使用し、周辺景観に配慮した建築物のデザインとなっている。
LR1 エネルギー	特になし	LR3 敷地外環境 燃焼機器の使用がなく、大気汚染物質を全く発生しない。広告物照明を行っていない。
Q2 サービス性能	給水管: VLP(B)、汚水排水: VP(B)、雑排水: VP(B)、Eは不使用。階高3.9m以上。壁長さ比率0.1未満。	
LR2 資源・マテリアル	節水コマに加えて、節水型便器を採用。躯体+軽鉄+仕上材のディテールを採用している。再利用できるユニット部材であるOAフロアも採用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される